

2018年下期業種別部会シンポジウム

2018年上期の回顧と2018年下期の展望

大統領選を直前に控えて～変化の時期への準備と戦略は

2018年8月23日
運輸サービス部会

運輸サービス部会の対象業界

物流



航空貨物



海運



航空旅客



旅行ホテル



IT通信



物流

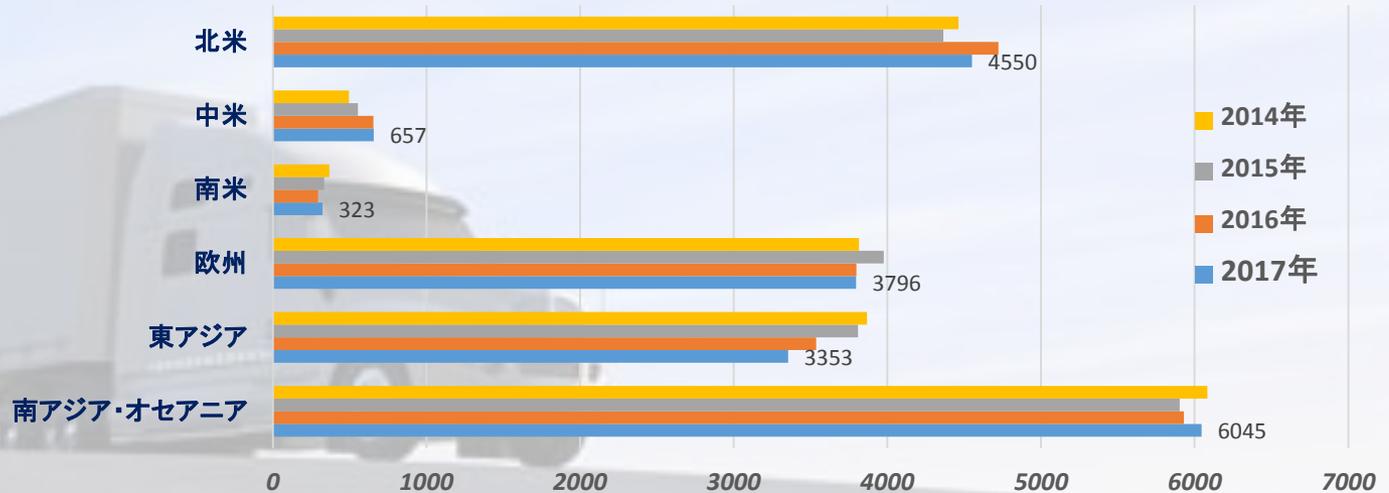
2018年上期回顧

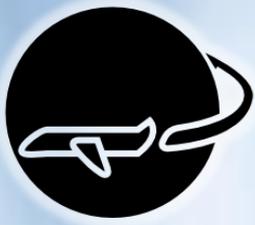
- # 税関ストライキが断続的に発生
- # トラック運転手ストライキによる主要幹線道路封鎖、国内、輸出入貨物の遅延
- # 海外引越 ブラジルへの赴任者が帰任者の数を上回る傾向が続く

2018年下期展望

- # 待遇改善等を求めるストライキ(税関、港湾労働者等)の発生が懸念される
- # 急速な回復は期待できないものの、一定量の荷動きは維持される見込み

日本発各地域向け船便引越件数動向 (単位: 発送件数)





航空貨物

2018年上期回顧

- # **トラック運転手ストライキにより特に輸出航空貨物需要が増加**
- # GRU, VCP計で貨物取扱量は、対前年同期比 輸出 21.7% 増 輸入 15.7%
- # GRU空港の輸出貨物荷受け制限による輸出貨物発送遅延

2018年下期展望

- # 輸出入貨物量は上期同様に対前年増にて推移する見込み。
- # 航空機貨物スペースがタイトな状態、運賃の値上がりが懸念される。
- # GRU空港の輸出貨物搬入制限の動向に注意が必要。

GRU,VCP空港 航空貨物輸出入取扱数量 (単位トン)



(出典 :GRU AIRPORT CARGO,VCP AEROPORT ,INFRAEO CARGO)

2018年上期回顧

コンテナ船 - 穏やかな荷動き増(世界全体で+4~5%程度)なるも大型船の引き度しのピークを迎え、スペースの供給(0%)により、運賃水準は弱含む

ドライバルク 鉄鉱石・大豆等ばら積み - 堅調な中国経済に支えられて好調

自動車輸送 - トラックドライバーのストライキなどネガティブ要因が一部あったが、2017年から継続して輸出が好調

海運

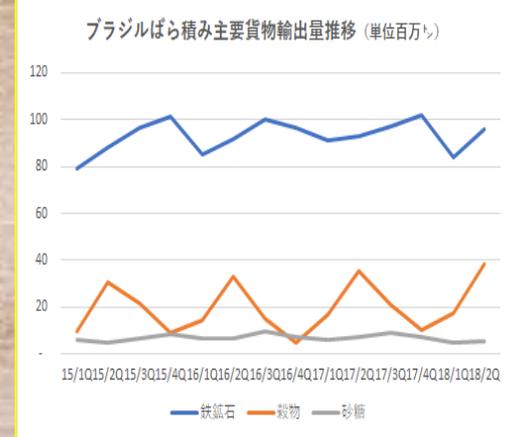
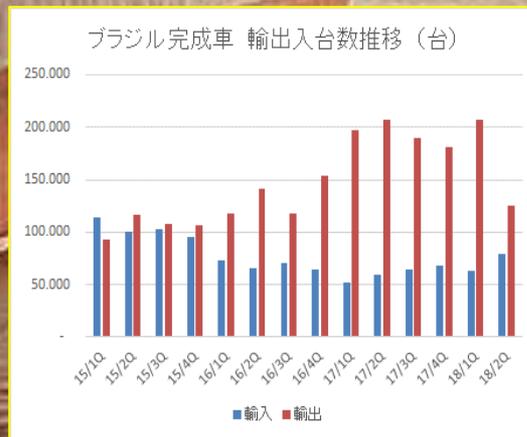
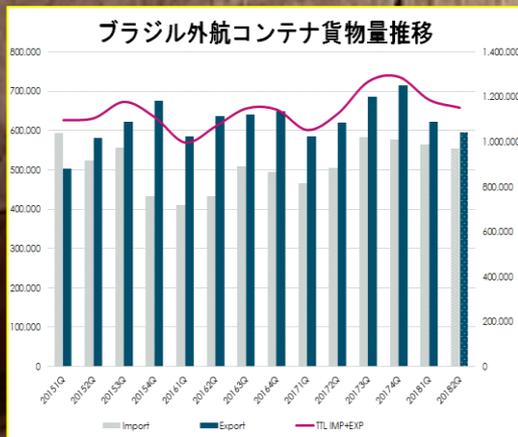
2018下期年展望

2018年に日本郵船、商船三井、川崎汽船のコンテナ部門が統合してできた新会社 ONE(Ocean Network Express)は、当初不具合もあったものの、サービス開始後3ヶ月以上経ち状況は落ち着きつつある

コンテナ船 - 安定した世界経済状況を反映して海上荷動量も増加。ロシア・イランへの経済制裁、米国の保護主義的な動きとそれに対する報復の動き、そして中南米においては特にアルゼンチンの経済の脆弱性が懸念要素

ドライバルク 鉄鉱石・大豆等ばら積み - 米中貿易摩擦の影響を懸念

自動車輸送 - ブラジルからの輸出の75%を占める亜の経済危機の影響が焦点



2018年上期の回顧

国内線は、有償旅客キロは対前年+4.2%、提供座席キロも同+4.2%で、利用率は80%を維持し、供給増に見合った堅調な需要の伸びが続いた

（2018年1月～6月計）

国際線は、ブラジル系航空会社計で、有償旅客キロは対前年+15.8%、提供座席キロは同+19.4%、利用率は▲2.5pt悪化したものの、座席規模の拡大に依りて旅客も大幅な増となった（2018年1月～6月計）

データ元：ANAC（ブラジル民間航空庁）

2018年下期の展望

国内線は、上期同様に下期も緩やかに需要が増えることが期待されるものの、大統領選挙の影響による旅客移動の鈍化が懸念される。

国際線は、下期も旺盛な需要に支えられて好実績になると思われるとともに、7月からLATAM航空がサンパウロ＝ポストン線を週4便、エミレーツ航空がサンティアゴ＝サンパウロ＝ドバイ線を週5便（既存のサンパウロ＝ドバイ線を含めると週12便）で運航を開始する等、再び路線拡充の動きもある。一方で、為替市場におけるレアル安がマイナス要素として考えられる。

サンパウロ市内とグアルーリウス空港間のアクセス鉄道（CPTM13号線）が2018年3月31日に開通し、6月から本格運行となった（4・5月は試験営業）

東京オリパコに向けて、旅行商品性や価格面を含めブラジルからの訪日外客数を如何に増やすかが課題である。

日本の航空会社によるエンブラエル機保有数：2018年7月末現在
日本航空グループ32機、ブドナムエアラインズ12機、計44機



航空旅客



2018年上期回顧



旅行
ホテル

	2017年第1四半期		2018年第1四半期		前年同期比	
	売上実績 (R\$千)	発券枚数	売上実績 (R\$千)	発券枚数	売上実績	発券枚数
国内線航空券	789,940	1,373,944	915,505	1,394,117	+ 9.9%	+ 1.5%
国際線航空券	636,500	160,970	689,646	186,492	+ 8.3%	+ 9.7%
	売上実績	販売宿泊数	売上実績	販売宿泊数	売上実績	販売宿泊数
ホテル(法人)	146,006	738,143	155,503	593,612	+ 6.5%	▲19.6%

ブライル・ビジネス旅行代理店協会 (BRACORP)

2018年下期展望

- # 全体的な見通しは上期より悪化
- # 航空券、ホテル:インターネットを使った個人向け販売 (BtoC)
- # インバウンド:7月に日系移民110周年
- # アウトバウンド:イセンテグツアー
- # 日本への就労移住の増加
- # 日系四世の受け入れ制度が7月よりスタート



粉類の機内持ち込みについて注意!

IT通信





IT通信
モバイル

2018年上期回顧

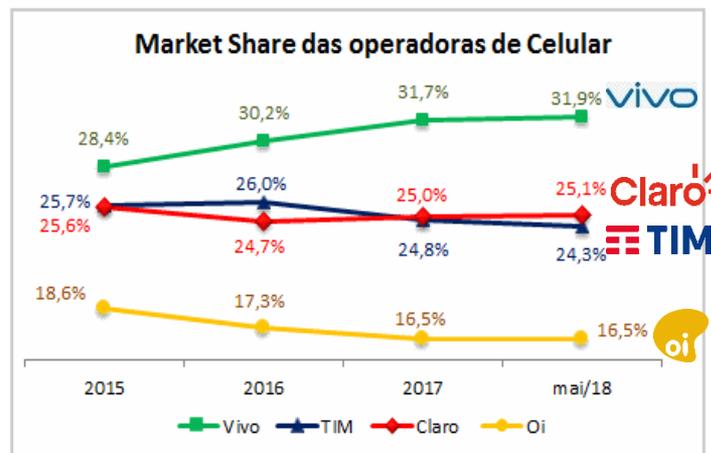
- # 契約者数は、前年度に続き約103万減少。
- # 4G(LTE)契約は約1,343万増加し、全体の49%を占める(表A)
- # マーケットシェア(18年5月): VIVO31% CLARO25% TIM24% Oi16%(表B)

(表A) 携帯電話・モバイル契約者数

項目	2018年上期 [単位: 万]	前年比
携帯電話契約数 (全体)	23,545 (100%)	▲3%
4G (LTE)	11,566 (49%)	+51%
3G	7,209 (31%)	▲32%
2G	2,836 (12%)	▲31%
データカード等 (IoT含む)	1,933 (8%)	+11%

出典]Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

(表B) モバイルのマーケットシェア



出典]Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

2018年下期展望

- # LPWA(Low Power Wide Area)の通信規格が2018年中にAnatelに認可予定、通信費用の低減からIoT分野での成長が見込まれる。
- # 4G(LTE)の普及・エリア拡大により、動画やビッグデータを活用したソリューションの普及が見込まれる。



IT通信
インターネット
ブロードバンド

2018年上期回顧

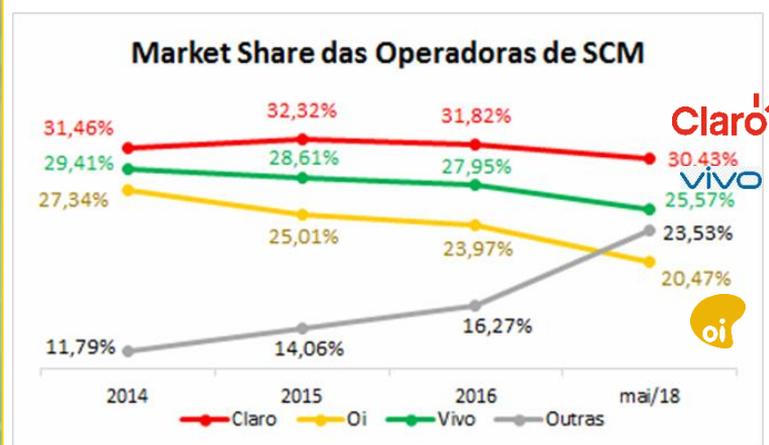
- # インターネット普及率 (2017年12月) : 70.7%、1億4905万ユーザ (表C)
- # マーケットシェア (2018年5月) : NET(claro)30%、VIVO25%、Oi20% (表D)
- # 固定ブロードバンドアクセス数 (2018年5月) : 3007万アクセス、前年比4%上昇

(表C) 南米各国のインターネット普及率

順位	国名	総人口辺りの普及率	合計ユーザ数
1	アルゼンチン	93.1%	41,586,960
2	パラグアイ	89.6%	6,177,748
3	ウルグアイ	88.2%	3,059,727
4	エクアドル	79.9%	13,476,687
5	チリ	77.5%	14,108,392
6	ブラジル	70.7%	149,057,635
7	ペルー	67.6%	22,000,000
参考	日本	93.3%	118,626,672

【出典】IWS HP <http://www.internetworldstats.com/>

(表D) ブロードバンドのマーケットシェア



【出典】Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

2018年下期展望

- # 光ファイバ網のエリア拡大や、通信品質の改善が期待される。
- # 個人のインターネット利用多角化に加え、ビジネスにおけるインターネット経由でのシステム利用が増加するなどこれまでと同様に需要の増加が見込まれる。



2018年上期回顧

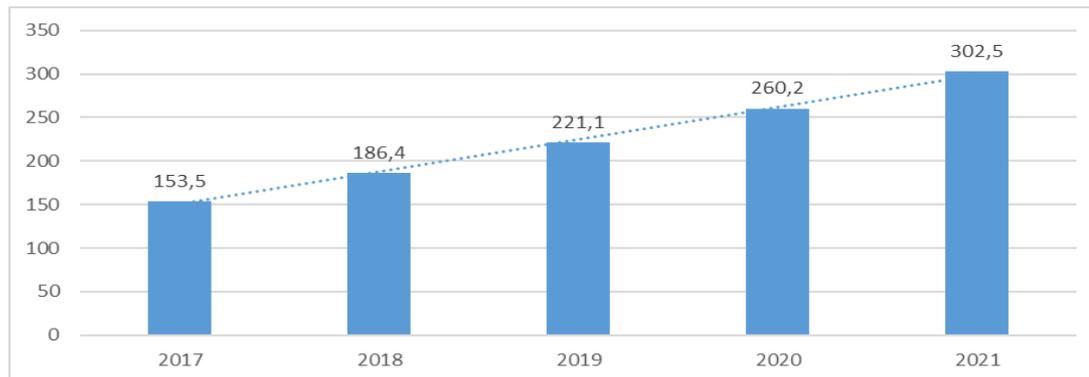
- # ITインフラの強化、IoTの拡大を含む **デジタル転換戦略** **E-デジタル** 制定
- # クラウド系サービスのニーズやセキュリティなどへのIT投資が増加
- # レベルの高いITエンジニアの確保や、高品質かつ高帯域の通信回線の確保が課題

IT通信
IT業界全般

2018年下期展望

- # クラウドサービス、ITアウトソーシングなど外部委託は継続して増加
- # クラウドの利用は**2017年から2021年で約97%の増加**が見込まれる (表E)
- # 情報セキュリティやITマネジメントサービスへの更なる需要増が見込まれる。一方、**信頼性をベースにITの外部委託先の選定には慎重になる必要がある**

(表E) パブリッククラウドの市場予測



変化の時期への準備と戦略は



Since 2000, **52%**
of companies
in the Fortune
500 have
either gone
bankrupt, been
acquired or
ceased to exist
as a result of
digital disruption.
(HBR 2017)

Through 2021, **80%**
of traditional
companies will
lose 10% in
market share
due to
disruptive
competition
and/or the inability
to disrupt
themselves.
(Gartner 2017)

80% of companies
around the world
say **digital**
transformation
is important to
their survival
in the
next five years.
(HBR 2017)

Nearly half (44%) of
all business leaders
think *their*
existing
business models
will cease to
exist within
the next five years.
(Microsoft 2016)



ブラジルの経済が上向
げば、内需は拡大し輸
入が増加、製造業をま
じめ**内需に活路を求め**
輸出減少が懸念される

ドル高レアル安

一次製品の輸出はブラ
ジルの経済そのものの動
きよりも **中国経済の**
動向に大きく左右され
る傾向あり

**イニチアチブ
新たなビジネス
チャンス、新規分
野)への
積極投資**

**エッセンスの尊重
と維持**

**経営自体の
デジタルトランス
フォーメーション**

**経済だけでなく
スポーツ、芸術、文
化等、様々な分
野で日伯交流の
活発化と相互理
解の深化**

**ブラジル日系社会
との更なる融和と
協調発展**



DX- digital transformation

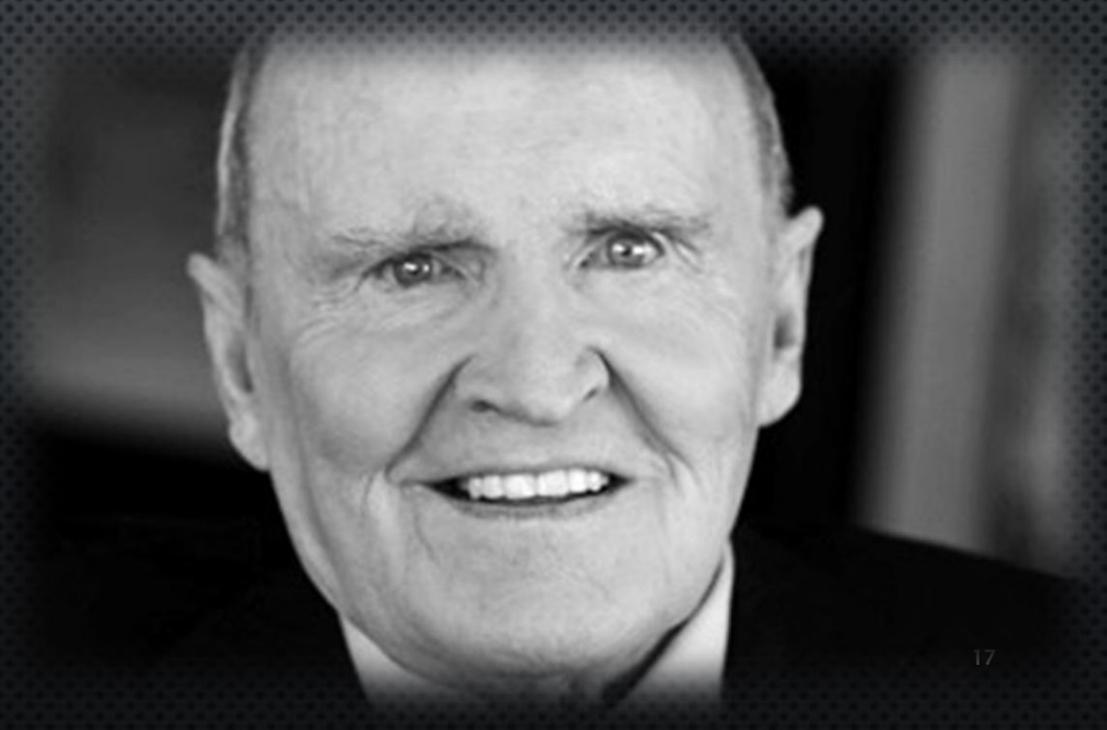
デジタル化による

ビジネス変革への準備

組織の内部の変化が、外部の変化についていけなくなったとき、終わりはすぐそこに来ている。

ジャック・ウェルチ

If the rate of change on the outside exceeds the rate of change on the inside, the end is near. -Jack Welch



A photograph of two cyclists in racing gear riding on a road in a mountainous landscape. The cyclists are wearing white jerseys with 'beloitte' and 'dimension data' logos, and black shorts. They are riding on a paved road with a white line. The background shows green hills and mountains under a blue sky with some clouds. The text '運輸サービス部会主催' is overlaid on the image.

運輸サービス部会主催

ITセミナー

- 日時 9月20日(木曜日) 15時開始 *18時終了予定
- 場所 商工会議所 大会議室

第一部：IoTの最新動向と導入事例について



中村 雅彦 なかむら まさひこ

NTT DOCOMO USA, Inc.

Senior Vice President, Business Development

NTT入社後、NTT西日本、NTT持株を経て、2009年よりNTTドコモに従事。2011年には電子書籍サービスのJV立ち上げに経営陣として参画。2013年より5年間、ドコモのグローバルIoT事業の責任者を務め、米国企業との協業によるグローバルIoTプラットフォーム、日伯間を含むeSIMソリューション、海外オペレータとのアライアンス、コネクテッドカー向けソリューションを主導。2018年6月、ドコモのグローバルIoTブランド「Globiot（グロビオ）」を立ち上げ。2018年7月より現職、米国ニューヨークに拠点を移し、IoTを中心としたグローバル事業開拓、米国企業とのアライアンスを担当。



第二部：“IT戦略＝ビジネス戦略”の具現化を支えるリスクマネジメントの在り方 ～レジリエンス強化に向けた5つの注力ポイント～



竹内 文孝 たけうち ふみたか

NTTコミュニケーションズ株式会社 経営企画部

マネージドセキュリティサービス推進室 室長 セキュリティ・エバンジェリスト

2001年にNTTコミュニケーションズ株式会社において初となるウイルス対策サービスを開発し、その後同社セキュリティオペレーションセンターを設立。海外グループ会社のPMIプロジェクト参画や、世界共通MSSメニューの開発などを経て、2013年NTTコムセキュリティ株式会社代表取締役社長に就任。現在は、NTTコムセキュリティサービスブランド『WideAngle』の新サービス開発に従事。セキュリティエバンジェリストの一面も持っており、各種セミナー講師などを務める。



第三部：最近の情報セキュリティ脅威と今後の対応について



藤生 昌也 (ふじう まさや)
パロアルトネットワークス株式会社
シニアビジネスデベロップメントコンサルタント

約15年間セキュリティ業界に従事し、エンドポイント、Email/Webセキュリティ、認証、ネットワークセキュリティに至るまで、幅広いレイヤーにて多くのビジネス経験を得て、現職に従事。
ビジネス開発/プロジェクトマネージャ/プロダクトマネージャを歴任。これまでの経験から講演依頼やセキュリティコンサルティングなどを務める。



運輸サービス部会主催

ITセミナー

- 日時 9月20日(木曜日) 15時開始
- 場所 商工会議所 大会議室